

発見!

牛久のお宝

問 文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874-3121

第33回 牛久シャトーのワイン醸造^{じょうぞう}



醸酵室

現在、展示室として使われている神谷傳兵衛記念館(醸酵室)は、ワインを醸造する施設として、明治36年に完成しました。
畑で収穫された葡萄は、トロッコ軌道^{きどう}によって醸酵室まで運ばれました。葡萄は手動のクレーンで2階に上げられ、正面の開口部を通じて搬入されました。2階で生成された葡萄果汁は、2階床板に開けられた小窓を通じ、その直下に並べられた1階の大きな樽^{たる}へ流し入れられ、一



昭和6年ごろの作業風景

次醸酵が行われました。1階階段の壁には「階上脱靴」と書かれた白い文字が残されており、2階が葡萄果汁を生成するために土足禁止だったことがうかがえます。
このワイン醸造システムは、日本では牛久シャトーだけです。現在も醸酵室にはワイン作りの設備や道具が残されており、当時の醸造工程を知ることができます。

企画展示

戦争の時代と牛久

8月2日(火)～9月4日(日)

午前9時～午後4時30分

※月曜日休館。 ※最終入館は午後4時まで。

住井すゑ文学館 抱樸舎

入場無料

今から70年以上前、戦争や軍隊が当たり前に存在していた時代の風景や社会を、牛久の昔の写真で紹介する展示企画です。

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、展示を中止・延期等する場合があります。あらかじめご了承ください。

問 文化芸術課(文化財グループ) ☎874・3121



昭和10年代撮影



牛久尋常高等小学校(現・牛久小学校)にて昭和13年1月撮影